

平成29年度第1回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成29年7月11日（火）

午後3時00分より

場 所 名張市防災センター 防災研修室

出席者：（敬称略）

（1）委員

石川 裕三（市民公募）
田麿 雄一（市民公募）
藤本 勝（市民公募）
室谷 芳彦（地域づくり代表者会議副会長）
姫野 光子（名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
吉田 敦美（名張市身体障害者互助会会計）
寺岡 正和（名張市保育所（園）保護者会連絡協議会会長）
松本 幸正（名城大学理工学部教授）
中平 恭之（近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授）
福嶋 博（近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部部長）
中川 康司（代理出席、三重交通株式会社伊賀営業所営業係長）
深山 美芳（深山運送有限会社代表取締役社長）
川瀬 和也（代理出席、株式会社メイハン常務取締役）
前田 敦志（三重近鉄タクシー株式会社名張営業所所長）
豊永 育子（公益社団法人三重県バス協会）
藤本 佳久（代理出席、伊賀建設事務所道路課長）
大茂 裕明（三重県名張警察署交通課課長）
小出 和仁（国土交通省中部運輸局三重運輸支局主席運輸企画専門官）
羽田 勇人（代理出席、三重県地域連携部交通政策課主幹）
前田 國男（名張市副市長）
谷本 浩司（名張市都市整備部部長）
田中 明子（名張市地域環境部部長）

（2）オブザーバー

福山 悦子（名張市民生委員児童委員協議会連合会副会長）
橋本 賢二（三重県県土整備部都市政策課課長補佐兼都市計画班長）

（3）事務局

都市整備部都市計画室 5名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人：0名

報告案件：①「活発で良い議論ができる会議のために。」

②名張市地域公共交通会議について

協議案件：①役員の選任について

②平成28年度事業報告について

③平成28年度収支決算について

④平成29年度事業計画（案）について

⑤平成29年度収支予算（案）について

⑥名張市地域公共交通連絡協議会の設立について

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

<報告案件>

①「活発で良い議論ができる会議のために。」

中部運輸局三重運輸支局（説明）

②名張市地域公共交通会議について

事務局（説明）

<協議案件>

①役員の選任について

会長：前田國男委員

副会長兼座長：松本幸正委員

監事：室谷芳彦委員、福田勝許委員

事業推進部会の指名及び候補者の承認（別紙）

②平成28年度事業報告について

事務局、各部会（資料に基づき説明）

座長 事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等があればお願いします。

委員 地域を走る鉄道、路線バス、コミュニティバス等のすべての公共交通の利用状況の推移を示す必要性があると思います。利用人員、利用状況を把握したうえで利用者の増減の要因を検討することで、次年度の取組のきっかけになると考えられます。

座長 次回、利用状況等の推移の資料を事務局にご用意していただきたいと思います。

座長 事業部会でのバス乗車調査の取組は素晴らしいと思います。その中で気になるのはバスの案内表示で、どうにかしていかなければならないと思います。桔梗が丘駅の表示(北出口・南出口)とバス停の表示(東口)の整合がとれていない状況について、この件についてはいかがでしょうか。

委員 駅の表示につきましては、線路は北東を向いて走っていて、各出口は北西、南東に面しております。ですからどちらかが間違いということではありません。名張駅は昔から西口・東口と呼んでいます。桔梗が丘駅については、西側に新しく住宅地ができたので、そちら側を西口と呼ぶようになったためだと考えられます。それに対して東口とは言わないように思います。駅の北口・南口の表示はエレベーター設置の際に相談のうえでこのような表示になったと考えられます。

バス停につきましては、5つ並んでいる中の1つのみが東口と書かれており、確かに不整合になっています。地元で普段から利用されている方は間違えにくいと考えますが、市外から初めて来られた人にとってはわかりにくいと思います。案内を変えるのにも費用がかかるので、これからどうしていくかよくご相談させていただきたいと思います。

座長 ありがとうございます。路線バスの事業者さんいかがですか。

委員 特に西側東側と分けているわけではなく、バスの表示も「桔梗が丘駅前」として運行しております。しかし、西側東側両方に路線がありますので、問い合わせがあった際には「東側・西側」というようにご説明しております。表現の整合性をとっていくのであれば、バス内の表示や音声案内など更新費用がかかりますので、ご相談させていただき、調整したいと思います。

座長 これを機に調整していただきたい。大切なのは、初めて利用する人がわかる仕組みをつくることだと思います。鉄道事業者さんには駅内にバス路線ごとの案内表示の設置をお願いしたいのですが、可能でしょうか。

委員 スペースの提供は可能です。このバスはこの出口から、といった表示でしょうか。

座長 そうです。そのようなことから一步一步すすめていけばよいと思います。名古屋を例にすると、地下鉄の改札口には、各自治体のコミュニティバスのバス停案内があります。案内がないとバスの存在自体がわからないので、このような案内は必要であると思います。部会でご検討いただきたいと思います。

委員 (駅の表示について) 鉄道は東西に走っているというイメージがとても強いため、東口・西口とするとわかりづらいと考えたため、あえて北口・南口としたのかもしれませんが。

座長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員 名張市役所前のバス停について、バス停表示は主にわからない人のためのものだと思うので、路線ごとにわかりやすく色分けなどをするのはいかがでしょうか。

委員 部会でもそのような話は出ていますので、部会で進めていきたいと思います。予算のことも含めて協議中ですが、路線によって温度差が見られます。今後は、地域の運行協議会の意志としてこのことについて付議をさせていただくかもしれません。

座長 路線ごとにわかりやすいカラーリングなどを考えていただきたい。また、利用者数について、

各公共交通機関のデータが用意できるように、事務局に進めていただきたいと思います。
では、その他にいかがでしょうか。ないようなので、次に、協議案件3の収支決算に進みたいと思います。

③平成28年度収支決算について

事務局（資料に基づき説明）

座長 予算に比べて、決算額が大幅に減っているようですが、これについて事務局からなにかありますでしょうか。

事務局 予算額につきましては、計画策定のため、会議を5回開催した平成27年度をベースに28年度も予算編成をしたためこの額となっております。そして、実際に開催した会議は2回となったため、このような決算額となっております。事務費につきましては、市が対応いたしましたので、0円となっております。

座長 その他にいかがでしょうか。ないようですので、本案件はご承認いただいたということよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

④平成29年度事業計画（案）について

事務局（資料に基づき説明）

⑤平成29年度収支予算（案）について

事務局（④に続いて資料に基づき説明）

座長 ありがとうございます。これに関してご意見、ご質問等ございますか。

委員 事業計画案について、警察としては、運転免許の自主返納の支援施策がうまくいっていない状況があります。昨年の交通事故の死亡者数は100名で、約半数は高齢者の方となっております。現在名張署でも返納する人は増えてきています。返納される方は、足が不自由で運転ができなくなったという理由の方が多く、返納した後の移動手段はあるのかというご意見も多くみられます。返納した方へのサービスは温泉施設の割引などがありますが、個人的な意見としては、宅配サービスや、コミュニティバスの充実の方が重要であると思います。また、免許証返納後に運転経歴証明書を発行しています。三重交通さんにはいち早く手を挙げていただき、運賃半額などの取り組みを行っていただいておりますが、高齢者になって何が必要かということを考えると、一番良いのは玄関から玄関へ送ってもらうということです。そして高齢者の方の行き先としては買い物、病院が多いく、その2つは自分の足で何とか行きたいという思いがあると思います。自宅からバス停が500メートルも離れていたら、自分なら免許を返納する気にはならないと思います。このようなことから高齢者の方が自分から免許を返そうと思えるような自主返納者に対するサービスの提供について、自治体や警察で検討していかなければならないと思います。返納者への優遇措置の取組は計画案では8月の予

定となっているようなので、支援施策についての考えをお聞かせください。

委員 このことに関連して意見があります。普段から高齢者の方と接している中で、高齢者の方は宅配サービスよりも、自分の足で買い物をしたり病院へ行くということが介護予防につながります。自主返納した後も、自分で考え、自分の足で動くという高齢者の方が自立できるような支援をよろしくお願いします。

事務局 継続して検討を進めていきたいと考えております。特にコミュニティ交通は、単にバス停とバス停をつなぐだけのものではないと思います。実際にバスに乗っている方にお話を聞きますと、おしゃべりするのが楽しいと言っていただきます。ですので、コミュニティ交通は人の移動だけではなく、人と人とをつないでいる存在であると考えます。コミュニティバスは地域で運営してもらっていますが、皆さんがバスに楽しく乗っていただけるような環境を作っていくことで、お出かけ支援や介護予防につながっていくと思います。その一方で、「ドアからドアへ」をすべてバスなどの公共交通でつないでいくことは不可能だと考えます。これについては、移動支援と各交通機関の役割を考えながら、公共交通のできる範囲で協議をしていただきたいと思います。料金の割引などで持続効果が見られそうなものに関しては、市でも検討していきたいと思います。

座長 高齢者の自主返納サービスの中には、実際に返納に効果があるのか疑問があるものもあります。いくら割引がたくさんあってもそれで返そうとは思わないと思います。返してもいい、返したいと思えるサービスを真剣に考えていかなければならないと考えます。何よりも大事なのは公共交通の充実です。その地域に住んでいる人の生活に合ったダイヤ設定などが必要であると考えます。また、名張に住んでいて、駅まで行くことを考えた時、ほとんどの方は歩こうとは思わないと思います。そこで、車で行くのではなく、バスを使おうと思ってもらえれば勝ちだと思っています。しかし、バスのダイヤやルートの分かりにくさもあり、バスは「不便」以上に「不安」なんです。この不安を各部会などで取り除いてほしいと思います。そして、まだ車を運転できるうちにバスを利用していただくことが大事だと思います。そして、これは総合的に関係機関がそれぞれの役割を果たして取り組んでいただきたいと思います。

ありがとうございます。その他にいかがでしょうか。特にご異論ないようですので、内容についてと予算案についてもご承認いただけるということでもよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

座長 ありがとうございます。では、予算案について承認していただいたとさせていただきます。続いて、協議案件6に移りたいと思います。

⑥名張市地域公共交通連絡協議会の設立について

事務局 (資料に基づき説明)

座長 ご意見ご質問等ございますか。特にご異論ないようですので、協議会の設立について、ご承認いただけるということでもよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

座長 ありがとうございます。ぜひとも期待したいと思います。よろしくお願いします。

⑦その他

事務局 事業推進部会への参画について、自薦・他薦というかたちのご承認をいただいております。
また、随時委員を拡充していきたいと考えておりますので、推薦書をご用意いたしますので、必要あれば事務局にお申し付けください。

座長 全体を通じて何かございますか。

委員 今回、企業の方がたくさん来ていらっしゃるのをお伝えしたいのが、免許返納についてですが、団塊の世代の高齢化により高齢者の人口は大きく増加します。ですので、電車やバスといった公共交通の利用の増加は見込めると思います。こんなバスに乗りたいというバスがあれば、免許返納につながると思います。経費の関係もあると思いますが、利用者増加を見込めるのであれば、看板の設置は微々たるものであると思うので、早急に取り組んでいただきたい。また、初めて利用する小さい子どもに向けてもわかりやすい表示に改善してほしいと思います。

座長 できることから進めていただきたい。残念ながら高齢化に伴う高齢者人口の増加によって利用者が増加することはあまり見込めないと考えられますが、その中で、少しでも多く利用してもらうことが大切であると思います。

活発なご議論をいただきありがとうございました。以上で活性化再生法に基づく協議会を終了とさせていただきます。これをもって、進行を事務局にお返しします。

事務局 長時間にわたりご協議をいただきありがとうございました。

これをもちまして、第1回名張市地域公共交通会議を終えさせていただきます。